

第1回 AIDS 文化フォーラム in 京都

背景

1994年、アジアで初めての国際エイズ会議である「第10回国際エイズ会議」が横浜で開催されましたが、国際会議に並行して草の根市民版エイズフォーラムが立ち上げられました。以降、市民の手ですべての人に開かれた場として「AIDS文化フォーラム in 横浜」が毎年8月に開催され、全国各地でHIV/エイズに取り組む団体・個人の発表・交流の場として、また多くの市民、特に若者に向けての啓発の場として定着しています。

関西は現在 HIV 新規感染者数が急増している地域で、その中で京都は、学生層が多く集う町であり、また日本古来の文化が根付く町であると同時に外国人観光客も多く、異文化交流の場でもあります。

今回、横浜の思いと経験を受けついで京都でも「AIDS文化フォーラム in 京都」を開催しようと組織（運営委員会）を設立いたしました。エイズの問題に取り組むにあたり、日常のさまざまな領域に関わる必要があり、そのことを文化としてとらえ「AIDS文化フォーラム」と名付けています。

AIDS 文化フォーラム in 京都の目的

I. エイズ問題の啓発

- ①市民に開かれたフォーラムによって、エイズが抱える問題を社会に浸透させる。
- ②エイズ問題について、人間として必要な文化の領域からのアプローチを試みる。
- ③特に若い世代へ、エイズに関する有益となる情報を提供する。
- ④学校教育について考える機会とし、特に性教育に関してオープンになることを期待する。

II. 多様性を理解する

- ①性と文化、性教育、性のあり方等を考える機会とする。
- ②異なった意見や考え方を大切にする。

III. とともに生きる

- ①エイズは日本を超え地球規模の問題であり、ともに考え問題を分かち合い、ともに生きる世界の実現に努める。
- ②HIV 陽性者の支援・交流の機会とする。
- ③人間のうちにある差別や偏見をなくし、人権を大切にするよう努める。

(2011年1月31日)

主催：AIDS文化フォーラム in 京都 運営委員会